

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護給付適正化事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護(予防)サービス利用者 居宅介護支援事業所	意図	・適正な介護サービスが受けられるようにするため。 ・適正な居宅介護サービス計画が作成できるようにするため。
事業内容	介護給付費の通知：介護サービス利用者に対して利用状況を通知し、介護保険への理解と事業所の不正請求防止を図る。 ケアプラン点検：市職員が居宅介護支援事業所を訪問し、ケアプランの点検及び指導を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年7月 介護給付適正化支援パッケージシステム購入 平成23年2月 流山市ケアプラン点検事業実施要領作成			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	給付費通知発送件数	17,989	18,682	22,223		件
②	ケアプラン点検実施事業所数	6	5	6	件	↗↗		
③	不適切請求指摘件数	29	0	0	件	→→	利用者ごとに1月につき1件	
④	不適切請求による報酬返還額	283,999	0	0	円	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 流山市ケアプラン点検事業実施要領に基づき、ケアプラン点検を実施（平成30年度 6事業所実施） 不適切請求 0件 報酬返還額 0円		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,326,764	11,129,056	10,975,898	介護保険事業の適正かつ効率的な運営のために、不適切な介護給付を削減し、介護給付の適正化を図るもので、今後も継続する。			
事業費(b)(円)		4,461,764	4,417,056	4,383,898				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		6,865,000	6,712,000	6,592,000				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	ケアプラン点検の方法について、対象人数を見直し少人数で対応できるように検討する。	③取組における課題(Check)	ケアプラン点検の件数が増えると、対応する職員を増やす必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	ケアプラン点検について、事前に資料を提出してもらい確認するポイントを明確にした。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	ケアプラン点検の方法について、対応できる職員を増やし一人あたりの負担を軽減する。